

「I Love You」「花は咲く」「花束のかわりにメロディーを」「My Heart Will Go On」
～少女とストリートチェロの物語～

子どもの権利擁護委員 関谷 道夫



デスクワークを始める前に、心身の活性化のため、お気に入りの楽曲の中から一つ選んで流します。デスクトップ前は**仮想劇場**に変わって、極上の旋律とイメージの世界が広がります。出会った子ども達の姿が浮かんできます。

YouTube では、ストリートピアノやストリートサク스가大ブームですが、最近^{にしかたまさてる}は**西方正輝**の**チェロ演奏**を聴きます。東京芸大卒・同大学院修了のチェリストで、NHK スペシャル「若冲」メインテーマ、NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」、劇場版「SLUM DANK」のチェロソロ演奏など、様々な分野で活躍されています。マイナー気味なチェロの魅力を発信しようと**ストリートチェロ**を始めました。重厚でやさしい音色が印象的です。

しかし、今回は、チェロ奏者の話でも、尾崎豊「I Love You」やセリーヌ・ディオーン「My Heart Will Go On」の楽曲の話でもありません。今日は、**恵比寿駅前(?)**で**ストリートチェロ**を熱心に聴く「少女」のお話です。

風のように現れた少女は、上品な紺と白の制服を着用し、紺の帽子を深くかぶっていました。どこかの**初等部**の印象です。重そうなリュックとショルダーバックを懸命に抱えて立っています。白い襟、よく磨かれた靴、首から下げた各種のパス、家族の愛情を一身に受けていることが容易に想像出来ます。

少女は、肩に食い込んだ重いリュックを時々かけ直して、重厚なチェロの曲が終わるまで、身じろぎ(※1)もせずに聴き入っていました。少女の**健気(けなげ)な姿(物腰・所作・振る舞い)**を見ているだけで、**何故か、それだけで胸が熱くなりました。**

この風景だけで多彩なイメージが浮かんできます。有名大学の附属小学校、毎日の電車通学、愛情あふれる家庭環境、家族で行くコンサート、家族の安定した社会的地位、朝の髪や服装の点検の様子、無理なく勉強や塾に打ち込む姿…ご家族の愛情のもとに、お勉強をしっかりやって、音楽などの趣味にも親しんで、幸せな人生を歩んでいくことが想像できます。

少女は、**憧れのチェリスト**が、尾崎豊の「I Love You」を弾いているのを発見します。見知らぬ人と係わってはいけないと躡けられてもいるのでしょうか。最初は、前に出ていくのを迷って、離れたところで、右往左往しながら、様子を伺っています。勇気を振り絞るように、最前列に出てきて、一人で聴き始めます。荷物を懸命に支え、手を組んで身じろぎもせずにじっと聴いていました。

タイタニック主題歌「My Heart Will Go On」を弾き終わるのを待って、小さな手で拍手して、西方にゆっくりと歩み寄っていきます。『**西方さんの動画をみて、バイオリンを始めました**』と語りかけます。もう3年になるということ



です。西方も、声を裏返しにして感激し、握手をして、「ありがとう…頑張ってるね！」と励まします。

少女からみると、学校からの帰宅途中に、偶然、自分がバイオリンを始める契機となったチェリスト本人の演奏に奇跡的に出くわしたのです。そのことをチェリストにきちんと伝え、少女は横断歩道を嬉しそうに駆けていきました。まさに心揺れる仮想劇場です。自分の望む人生を着実に歩んでいこうとする少女と、重厚な音色を奏でるチェリストとの束の間のフュージョンでした。煌めく一瞬です。

ミメシス（Mimesis: 感染的模倣）という言葉があります。生き方に共感できる憧れの存在に同一化することによって、自分を成長させるというものです。人は、信頼できる先輩や先生、目標とする芸術家やアスリートのようになりたいと願って努力します。明るく、楽しそうな、そして自信と確信をもって活動している姿を見て、それにシンクロ（同調）していきます。モデリングと言われる学習の手法です。

少女は心の中で何を体験していたのでしょうか？憧れの奏者の生の音を目前で聴いた感激、ストリートチェロの音色、バイオリンを始めた判断への確信…少女は、家庭・学校環境に素直に順応しながらも、希望してバイオリンを習い始め、路上で足を止めて聴くなど、意思と行動を自ら決定し、それを明確に表現しています。少女の将来をずっと音楽が彩ってくれるでしょう。軽い足取りで帰っていく姿はそれを物語っています。

少なくとも、憧れのチェリストから「頑張ってる」と励まされた記憶は、少女の脳裏に深く刻印されると思います。音楽家以外の人生を歩んだとしても、この出来事は、少女の“自己効力感&自尊感情&生きる力”になると感じました。

昼下がりの駅前の一途な少女の姿は、それを見ている者にとっても、**激励された気持ち**になります。心理臨床では、逆境に苦しむ子どもと触れ合うことが多いのですが、一方で、**まっすぐに順当な人生を歩む子どもの姿も悪くありません**。余分なストレスに惑わされることなく、真っすぐに王道を歩んでほしいと思います。多くの応援を周りから集めて、**ピュアに真っすぐに育っていく生き方も爽快**です。これもひとつの人生です。**ダイバーシティ（多様性）**の真ん中にいる子どもだと思いました。堂々と、健やかな人生を歩んでほしいと思います。

心が屈折した時は、**ストリートチェロを一途に聴いていた少女の姿**を思い出すことにします。

（次回は「J-POP CLASSIC CLUB TOKYO」です。）

※1 身じろぎ…身を動かすこと。